

社会福祉法人 真宗協会



障害者支援施設

帯広慈光学園

やまびこ



Picup!

- ・2021 慈光クリスマス会
- ・クラブ活動
- ・慈光蕎麦

撮影地：帯広市大正町

第二大川橋から日高山脈を望む

2021 帯広慈光学園 クリスマス会

12月23日、恒例の慈光学園クリスマス会が行われました。昨年同様、コロナウイルス感染予防の為園内での開催です。今年も木村宏樹さんの開会の挨拶で始まり、午前の部では、各居室ごとにオリジナルのクリスマスツリーの飾りつけや、段ボールで作成した大きなピンを倒す「ビッグボーリング大会」「キャタピラ競争」が居室対抗で行われました。白熱の戦いに徐々にボルテージが上がっていき、最後の方では禁断の技「二刀流」で投げる利用者様も居て、おおいに盛り上がりました！昼食はノースランド帯広さんの豪華なホテルランチをお弁当スタイルにして頂き、中華弁当と洋食弁当どちらかを選ぶスタイルです。自分で選んだメニューという事で大満足の様子でした。ちなみに、利用者様は圧倒的に中華弁当を選びましたよ。

お腹も満たされたところで、午後の部は利用者様の大好きなカラオケ大会から始まりました。中々披露する機会が減っている為、ここぞとばかりに大熱唱のオンパレード♪

桜井一也さんは「ポケモン」、高田知佳さんは「轍」等、飛び入り参加の方も沢山おり、職員が入る隙も無いほどでした！

おやつには札内の「一糸」さんの美味しいケーキとコーヒー牛乳を楽しみながら、サンタクロースに扮した清野生活支援課長と大西支援員からプレゼントを受け取りました。毎年この二人が現れると、笑いと期待感に溢れ皆様の目がキラキラする瞬間なのです。プレゼントの中身を見て、佐藤之徳さんは「これ、欲しかったやつだ！」と、とても嬉しそうにしているのが印象的でした。最後にはプレゼントを持って各居室ごとに写真撮影して終了となりました。今年もコロナウイルス感染予防として園内での開催となりましたが、利用者様と職員が一緒になって飾りつけをするクリスマス会も素敵だなと思った一日でした。果たして来年はどんなクリスマス会になるでしょう。

(原田生活支援員)





Merry Christmas

～慈光クリスマス写真館～



はじめま〜す!

たくさん飾ってね♪



レクリエーションでも

真剣勝負!!





うん！うまい！



Smile ! Smile ! Smile !



Christmas present



希望旅行



今年度最後の希望旅行が10月に行われました。長らく続いておりました緊急事態宣言も解除され、この日の旅行では、おびひろ動物園に行ってきました。あいにくの雨模様でしたが、久しぶりのお出掛けとなり皆さん楽しんでいただけました。昼食は感染予防として学園に戻り頂きましたが、まだまだ楽しみたい利用者様のために午後からはパンケーキづくりにも挑戦していただき、楽しい一日になったことと思います。

(高橋生活支援員)



居室日記「スバル室」

スバル室では毎月お楽しみ会と題してケーキやお菓子の喫食を行っています。利用者の皆様も、毎月の恒例行事を楽しみにされており、お楽しみ会を行われる日がスバル室の予定表に記載されると、「今月は何を食べるの？」と興味津々な様子。なお先月は、早田大佑さんのリクエストでショートケーキを頂きました。

(高橋生活支援員)

グループ日記「リハワークG」

リハワークグループは、主に身体に麻痺がある方、骨の弱い利用者様が体力維持や筋力維持を目標に日々園内歩行やストレッチに励むグループです。夏季は毎年学園前花壇の花植えや整備を行っており、今年もひまわりやマリーゴールド等13種類の花を植えました。来年、機会があればぜひ1度見に来てみてくださいね。

(嘉藤生活支援員)



画面を見ながらだから、同じ動きが出来るよ♪

11月5日、学園多目的ホールにて北海道知的障がい福祉協会が主催の「オンラインでかたるべ〜体を動かそう〜」に参加しました。コロナ禍でも、各事業所と繋がりを持ちながら楽しく体を動かしましょうという初の取り組みで、ホールの大スクリーンを見ながら運動などの活動を行いました。タオルを使い、主に座って出来るストレッチや、講師の方のお話を聞いたり、利用者様も最初は戸惑いがありましたが、次第に慣れてきてくれて笑顔で参加されていました。他施設の方との交流もなかなかできない状況ですが、工夫を凝らし、積極的に活動の発信をして行きたいと考えています。

(稲守生活支援員)

オンラインでかたるべ〜体を動かそう〜

大規模停電！その時、学園は？

12月2日夕方から3日の夜にかけて停電が発生し、帯広市大正地区も多大な影響に見舞われましたが、新設の発電装置が稼働し、施設内での生活を安全に保つ事が出来ました。不安そうにされていた利用者様も安心され、暖房についても、災害用に備蓄されているストーブが各所で威力を発揮しました。

(高橋生活支援員)

施設内のおしごと紹介「被服係」

慈光学園施設内事務機構のひとつ、「被服係」について今回はご紹介させていただきます。被服係では、利用者様の寝具の管理、交換や利用者様の衣類、肌着、下着が混ざらない様に名札付けを行ったり、裾合わせや、膝当てを付けるなど、個々の特性に合わせた服の加工なども行っています。学園の生活には欠かせない役割を担っています。

(嘉藤生活支援員)

ゴルフ部



クラブ活動



ドライブ部



カラオケ部



レクリエーション

10月19日、初めての試みであるクラブ活動が行われました。利用者様に希望を伺い、それぞれカラオケ、ゴルフ、ドライブ、映画鑑賞、ピクニックへ参加されています。ゴルフ部では以平農村公園ゴルフ場をお借りしてパークゴルフを行っています。ゴルフ経験が少なく戸惑う利用者様もいらっしやいましたが、すぐにルールを理解し慣れた手つきでクラブを扱われていました。ドライブ部では職員の運転するバスに乗車され、ピョウタンの滝を見学されています。天候は曇りであったものの、普段見られない景色を眺めて満喫されています。全グループそれぞれ3時のおやつが提供されており、映画鑑賞部は季節ならではのかぼちゃプリンを喫食され、ゆったりとした時間を過ごされました。また、この日は大谷短期大学の実習生2名が主催する手形ハンコ作り、新聞紙相撲といったレクリエーションも行われました。普段とは違った余暇活動を楽しみつつ、実習生さんとの絆もぐっと深まる一日でした。

(河合生活支援員)

慈光蕎麦が出来ました



今年も自慢の「慈光蕎麦」が出来上がりましたのでお知らせいたします。昨年好評頂きました「韃靼そば」と、「普通蕎麦」の二種類を作付けし、保存のしやすい乾麺にしました。

例年の事ですが、「種まき」「草取り」「刈り取り」「脱穀」「唐箕選」「乾燥」と全て手作業で行う工程は、改めて先人の農業に携わる人たちの苦労と労力とそれ故の収穫出来た喜びを感じる幸福感を共有することに他なりません。この機会に一味違った「慈光蕎麦」をご賞味下さい。

「普通そば」は二百グラム入り定価二百円。栄養価があり希少品種の「韃靼そば」は、二百グラム入り定価三百円で販売いたします。購入につきましては、帯広慈光学園まで電話にてお申し付け下さい。副作用はありませんが、蕎麦アレルギーの方は、ご利用をお控えください。(清野支援課長)



今年は2品種出来ました!ぜひ味比べも楽しんでください!

施設内での面会について

感染予防の観点から帰省自粛のお願いが続いており、ご理解いただいております。ご家族様には感謝申し上げます。

10月より自粛緩和としまして学園での短時間の面会を受け入れておりますが、面会にあたって幾つかお願いがございますのでお知らせいたします。

- ① 2回目のワクチン接種済みである。
- ② 直近1週間で十勝管外への往来が無い。
- ③ 直近1週間で十勝管外の人との接触が無い。
- ④ 来園される3日前までに体調不良または37度5分以上の発熱が無い。

以上、面会希望日をお電話でお知らせ頂き、4項目に留意してお過ごし頂けますようご協力をお願いいたします。また、感染状況により一時中止となる場合もありますので、ご了承ください。(河合生活支援員)

ワクチン接種実施しました

11月9日にインフルエンザのワクチン接種を行いました。利用者様も慣れた様子で接種されました。外出行事などマスク着用できる利用者様の買い物等、緩和されたこともあり、十分に感染症には気を付けて行事を企画していきたいと思っております。(稲守生活支援員)



お正月の過ごし方

コロナ禍に悩ませられながらも、あつという間の1年が過ぎようとしています。今回も帰省のご案内が出来ず申し訳なく思っておりますが、利用者様には楽しく年越しをしていただきたいと考えております。

園内もお正月飾りを整えて、大みそかにはお蕎麦やお刺身を頂き、元旦の朝には彩り豊かな口取りを提供させていただきます。

三が日はのんびりと、初詣やおやつパーティーで過ごす予定です。ご家族の皆様におかれましても、どうぞ良いお年をお迎えください。(石田生活支援員)



行事予定

1月 新年会・もち会
3月 慰労会

※他、行事につきましては、感染症予防の為、代替行事等の対応を行っています。

学園のフレッシュな情報を掲載しています!ぜひご覧ください!



帯広慈光学園 HP

編集後記

大正にも厳冬の季節がやってきました。健康に配慮しながらも、冬を楽しんで乗り切ってもらえる様、様々な活動で皆さんと元気に過ごします。

【発行】 帯広慈光学園
0155-64-5106
【編集責任者】 施設長 小森 成人
【編集者】 生活支援員
石田 真咲 稲守 翔平
原田 明嗣 高橋 信
嘉藤 美咲 山田 洋美
河合 茉里奈